

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立松岩小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒988-0122
宮城県気仙沼市松崎五駄鱈5番地

E-mail matu-s7@royal.ocn.ne.jp

Website www1.ocn.ne.jp/~matsuiwa/

児童生徒数 男子 177名 女子 162名 合計 339名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉，地域素材）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

1 本校のESDでめざすもの

(1) ESDのねらい

自分と地域の人や自然環境、歴史や産業とのかかわりやつながりが分かり、よりよい社会を共につくっていかうとする児童を育てる。

(2) ESDで育てたい資質・能力

ESDで育成する能力・態度	ESDで目指す児童像
①問題解決力、思考力、判断力 批判的思考力（クリティカルシンキング） ②未来像を予測した計画力 ③多面的・総合的な思考力（システム思考力） ④コミュニケーション能力 ⑤他者と協力する態度 ⑥つながりを尊重する態度 ⑦進んで参加する態度	①課題をもち、進んで探求する子ども ②互いに協力する子ども ③進んでコミュニケーションできる子ども ④学んだことを発信し、実践できる子ども

*本年度特に重視する能力・態度は囲み字

2 本年度のESD実践事例（生活科・総合的な学習の時間における学習計画）

環境・地域

学年	テーマ	学習計画
1年	みんななかよし	○たのしさいっぱい 八幡神社
2年	みんななかよし	○ときどき わくわくまちたんけん ○聞いて聞かせて まちのすてき
3年	さがせ さがせ 松岩の名人	○地域の名人に会いに行こう ○まだまだあるぞ、松岩のすてき
4年	探ろう！松岩のくらし	○環境レンジャー出動
5年	松岩の海を見つめて	○海の恵みを知ろう ○海の恵みを伝えよう

<3年生>

庭先でバラを栽培している「バラ名人」に会いに行き、きれいに咲かせるコツやバラに対する思いを伺うことができた。また、「野菜名人」と交流したグループの発表を聞いた後に、社会科で再び見学したことで、野菜作りや名人の思いについて興味・関心を高めることができた。「松岩小学校の近くに、こんなにすてきな場所があったんだね。」と地域の新たな魅力に気付くことができた。さらに、公民館と連携した取組として、「大福名人」と一緒に大福作りにも挑戦した。

<5年生>

松岩浅海漁業研究所の協力を得て、ワカメの種付け体験と刈取り体験を行った。他にも、自分の課題に合わせて、メカブ工場の見学や、海藻押し花体験を行った。また、ゲストティーチャーを招いて、養殖業や水産加工業について話を伺った。一人一人が自分の課題解決に向けて養殖の仕組み、加工の技術、それらの産業を支えている海的环境について積極的に学び、その成果を新聞にまとめ、その新聞をもとに感想を述べ合った。

福祉

学年	テーマ	学習計画
2年	もっとなかよし まちたんけん	○まちのようすを知ろう ○交流会をしよう
6年	ともに生きる	○福祉の心を学ぼう

<2年生>

地域を探検して、学区内にある支援学校について知り、支援学校の児童とゲームや歌で交流した。

<6年生>

学区内には気仙沼支援学校を始め、老人福祉施設、児童福祉施設など、福祉に関係する施設が多いが、児童自身の関わりは少ない。施設見学と交流会を通して、様々な人との適切なコミュニケーションの取り方について考えることができた。

防災

学年	テーマ	学習計画
1年	みんななかよし	○ぼうさいグッズを見つけよう
2年	みんななかよし	○見つけた！こども110番の家
3年	さがせ さがせ 松岩の名人	○防災名人に会いに行こう
4年	探ろう！松岩のくらし	○災害に役立てよう
5年	松岩の海を見つめて	○防災マップを作ろう（避難場所を確認しよう）
6年	ともに生きる	○防災を考えよう（防災リーフレットを作ろう）

<1年生>

学校探検をして、防災に関係する物を探した。消火器や消火栓、防火扉など、身を守る物がたくさんあることに気付くことができた。

<3年生>

公民館と防災センターを見学し東日本大震災当時の話を聞いた。「防災名人になるのは君たちだ！」という言葉に意欲を高め、家や学校にいるときの身の回りの安全や避難場所について考えることができた。

<6年生>

学校内の備蓄倉庫の中や井戸、ソーラーパネルを見学し、災害時に身を守る方法を考えた。危機管理課の方を講師に行ったサバイバル飯炊き体験、防災センターの方を講師に迎えた救命救急講習など、様々な機関の協力を得て、活動を深められた。また、調べたことや学んだことをもとに、防災リーフレットと防災カルタを作り、校内の他学年へ発信することができた。

3 ESD推進上の課題と次年度改善を図ろうとしている点

課題①防災教育や環境教育、福祉教育など多岐にわたる実践を行っている。児童の学びがより探求的・主体的になるよう、プログラムを精選していく必要がある。

②児童の課題に応じた体験活動を行うことができた。しかし、体験活動が体験に留まり、課題解決学習の中に生かされていないこともある。

改善①今年度実践して得られた反省を生かし、各学年の内容の精選を行う。「環境」「防災」「福祉」の3つの柱で活動をしているので、それらの活動を「地域」というキーワードでつなぎ、学年ごとに内容が収束してしまわないよう、系統性を意識した活動にする。

②家庭や地域（公民館や漁協、福祉施設など）と連携し、人との関わりを大切にしたい課題解決方法をより一層取り入れていく

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）